

市町村によるレジ袋削減の取組み

熊本市、水俣市、上天草市、合志市、宇土市、天草市では、レジ袋削減の中で最も効果が高いレジ袋無料配布中止(有料化)に事業者、消費者、行政で協働して取り組んでいます。

消費者

買い物にはできるだけ買い物袋(マイバッグ)を持参し、レジ袋を辞退しましょう。

【取組事例】

天草市地域婦人会連絡協議会(島田美代子会長)では、天草市のレジ袋無料配布中止の開始に合わせ、スーパーに来店された方に手作りマイバッグ150個を配布し、マイバッグの持参を呼びかけられました。島田会長は、「マイバッグがごく当たり前になるよう、啓発に力を入れ、美しい天草を守っていったらと思う。」と話されています。



▲手作りマイバッグ



▲マイバッグ持参の呼びかけ

事業者(各店舗等)

スーパー等の店舗では、レジ袋無料配布を中止することで、レジ袋削減に協力いただいています。

【取組事例】

あるスーパーでは、お客様のご協力もあり、系列の全店舗合計で年間約24t(6畳の部屋で高さ約6m分)のレジ袋が削減できたとのことです。



お客様からは「有料化をきっかけに、レジ袋が持ち帰った後ゴミになりやすいと意識するようになった」「家計にも優しいマイバッグを持ち始めた」等の声が寄せられています。

▲マイバッグ持参の消費者(熊本市内のスーパー)

連携の仕組みづくり

市町村

CO₂の排出削減とごみの減量を目指し、各人が身近にできる運動としてレジ袋削減に取り組んでいます。

【取組事例】

事業者と協定を締結するなどしてレジ袋無料配布中止を推進しています。

また、広報誌などで住民へマイバッグ持参を呼びかけることや、キャンペーンでは、店舗でチラシを配布するなど、啓発に努めています。



取組みを拡大するための支援

熊本県

レジ袋無料配布中止の取組みを全市町村に拡大するため、市町村への支援を行っています。

- ・市町村へのレジ袋無料配布中止に向けた働きかけ
- ・スーパー等へのレジ袋削減に向けた働きかけ
- ・市町村が行うレジ袋削減に向けた会議への支援

マイバッグキャンペーン一斉行動参加店の取組み

10月のキャンペーン期間中に、レジ袋削減の取組みを実施していただきました。

参加店舗数

1,179店舗

マイバッグ持参率
(レジ袋辞退率)

約**32.1%**
(手法別:有料化77.9%、キャッシュバック45.0%、シール・スタンプ29.2%など)

レジ袋削減枚数

約**837**万枚
※県民一人当たり4.6枚のレジ袋を削減

レジ袋削減による効果(レジ袋削減枚数 837万枚をベースに試算)

ごみ減量

約**83.7t**の減量(レジ袋1枚(LL版)の重さ10gで試算)

CO₂の削減

約**502t**-CO₂を削減(レジ袋1枚(LL版)から60gのCO₂排出として試算)
およそ3万6千本のスギの木が1年間に吸収する二酸化炭素量

資源(石油)の節約

約**153kℓ**を節約(レジ袋1枚(LL版)の生産に石油18.3mlが必要として試算)